

神奈川県立 精神医療センターだより

芹香病院／せりがや病院



地方独立行政法人になって

神奈川県立精神医療センター所長 岩 成 秀 夫

神奈川県立精神医療センターは、平成22年4月1日から地方独立行政法人神奈川県立病院機構が運営を行う県立病院となりましたが、芹香病院とせりがや病院という2つの病院を運営する精神科の専門医療機関としての位置づけには変更ありません。

芹香病院は、統合失調症、気分障害、神経症性障害などのストレス関連疾患など、依存症を除く様々なこころの障害を対象とした医療を行っています。

現在、わが国の精神科医療は「入院医療中心から地域生活中心へ」という理念のもとに、大きく舵を切っているところです。芹香病院では、平成15年から長期在院患者の退院促進に努めており、現在では入院と同時に早期退院に向けてケアマネジメントを開始しております。また、退院した方の地域生活支援として、精神科訪問看護やデイ・ケア、外来作業療法にも力を注いでいます。

このほか、県立病院の役割として、精神科救急医療、ストレスケア医療、医療観察法医療、難治重症医療など全国的な精神科医療に対応しております。救急医療では神奈川県の基幹病院として中心的役割を果たし、ストレスケア医療では神奈川県の自殺対策の一環としてうつ病治療にあたるとともに、難治性うつ病の治療研究にも取り組んでいます。また、医療観察法医療では、鑑定入院、入院処遇、通院処遇のいずれにも対応できるようになっています。

一方、せりがや病院は、都道府県立では全国唯一の依存症・中毒性精神障害の専門病院です。アルコールや覚せい剤などの薬物依存症と中毒性精神障害を対象とした専門治療プログラムによる依存症医療を行っています。

ところで、当センターの最大の課題として総合整備計画の推進があげられます。病床数33床の本格的な医療観察法病棟を平成24年度までに先行的に整備するとともに、並行して芹香病院とせりがや病院を統合した新棟を現芹香病院敷地内に平成26年度までに建設する予定となっております。

こうした状況の中で、独立行政法人としての効率的な運営も求められており、高度で良質な医療を提供しながら経営効率の追求、人材の確保と育成等々の課題にも取り組んでいかなければならないと思っております。引き続き、多くの皆様の信頼と期待に応えられるよう努力してまいりますので、今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

芹香病院副院長就任に当たって

芹香病院副院長 小澤篤嗣

4月より、副院長を拝命致しました。引き続き、どうぞよろしくお願い致します。当院に奉職し、5年目に入ったばかりの新参者ですが、みなさまの期待の大きさを、さらに強く感じております。

5月の連休明けから、総合整備の具体的な進め方を検討する会議を毎週続けております。神奈川県の精神科医療の中核病院としての役割を果たすために、療養環境を改善するとともに、引き続き「精神科救急の基幹病院としての医療」「自殺対策の一環としてのストレスケア医療」「医療観察法医療」を行い、新たに「思春期医療」及びせりがや病院と合併し「アルコール・薬物依存症に関する専門的医療」も加えます。2年後には、30床規模の医療観察法指定入院治療病棟が一足早く完成しますので、しばらくは工事期間が続くことになります。

神奈川県立精神医療センター 〒233-0006 横浜市港南区芹が谷2-5-1

<http://kanagawa-pho.jp/osirase/byouin/seisin/index.html>

TEL 045-822-0241(代) FAX 045-825-3852

※電話の掛け間違いが大変多くなっています。番号をよくお確かめのうえ、おかげ下さい。

当事者である患者さんそして御家族を念頭に置き、会議は10以上のワーキンググループで進めて行きます。事務局・栄養・心理職・作業療法士・デイケアスタッフ・薬剤師・精神保健福祉士・看護師・医師というそれぞれの専門職が集まって、具体的に検討をして参ります。



さて、これは陰陽図です。古代中国の易学では、二つの相反する性質をもつ陰と陽の気が衰えたり盛んになったりすることによって、天変地異も災いや幸運も人事の吉凶も説明しようとした。「陰陽師身の上知らず（他人のことは占って分かるが、自分の運命については分からない）」のいわれのように、そもそも科学的な思考とは相容れない無理はあるのですが、反するはずの気の中に同じ性質を見出していたり、合わせて円の形となっていたりは、妙に納得できる気になることが多いのです。相反するものであっても切り捨てるのではなく、相通じ形を整える。水のごとき素早い柔軟さも忘れぬよう、一層みなさんの力を借りて、この総合整備を進めています。重ねてよろしくお願い申し上げます。

■新任職員の紹介

本年4月及び5月に、精神医療センターに来られた医療スタッフを紹介します。センターの基本理念を踏まえ、皆様に信頼される心あたたかい医療を提供するよう努力しますので、よろしくお願ひいたします。

芹 香 病 院



伊藤部長



宮崎医師



原口医師



長房医師



長野医師



柏倉看護科長

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
デイ・ケア科部長	伊藤恵理子	精神保健福祉士	熊野 美里	看護師	鹿内 義則
医 師	宮崎 綾子	//	立本 志野	//	十日市知識
//	原口由布子	作業療法士	逆井 杏奈	//	堀口 忠
//	長野 治晃	看護科長	柏倉 裕子	//	田中 茜
//	長房 裕子	主任看護師	白石美由紀	//	横溝 瑞
主任福祉司	石川 慶子	//	安藤 馨	//	篠原 仁
//	遠藤 有子	//	福田 伸一	//	諸橋 啓介
精神保健福祉士	本宮 楚月	//	吉川 和世	//	寺澤 明子

せ り が や 病 院



渡邊医師



吉松医師

職名	氏名	職名	氏名
主任栄養士	平山麻実子	看護師	中山 新
医 師	渡邊 宏行	//	八巻 倫代
//	吉松(よしまつ)尚彦	//	福地由紀子
主任看護師	山口二三子	//	山下 潤

平成21年度患者満足度調査結果から

当センターでは、毎年、患者満足度調査を実施し、その結果を病院運営に役立てています。以下、昨年度の調査結果の概要についてお伝えします。

【芹香病院編】

●調査期間：平成22年1月25日～1月29日

●調査方法：アンケート方式（自記式無記名）

入院患者：配布数 177人 回収数 170人（回収率96.0%）

外来患者： // 236人 // 236人（調査期間中の外来患者数 334人）

【入院患者の満足度】

医師の対応に関しては、「満足群（とてもそう思う・そう思う）」63%、「不満足群（あまり思わない・全く思わない）26%、「わからない」9%、「無回答」2%の状況です。すべての項目に対して「満足群>不満足群」の状況でありますか、前回調査に比べると不満足群の割合が高くなっています（23%→26%）。

看護師の対応については、「満足群」66%、「不満足群」25%、「わからない」7%、「無回答」2%の状況です。看護師の場合も、前回調査に比べ、不満足群の割合が高くなっています（23%→25%）。

療養環境に関する7項目（食事内容、売店サービス、「皆さんのがんばり」設置、冷蔵庫の活用、喫煙ブース、避難誘導の説明、医師・看護師以外の職員の対応）の状況をみると、「満足群（非常に満足・やや満足）」48%、「不満足群（やや不満・非常に不満）」22%、「わからない」26%、「無回答」4%の状況で、満足群が前回調査に比べ下がり、50%を割っています。また、病棟・病室の環境に関する16項目（室内の清潔度、照明の明るさ、臭い、ベッド等の寝心地、TV・ラジオの音、シーツ交換時の埃、院内の清潔度、院内放送の音、入浴設備、トイレの清潔度、戸の開閉音、換気の調節、足音、温度の調節、湿度の調節、他人の話し声）の状況では、全体では満足群59%、不満足群24%の状況ですが、不満足群が高い項目（30%超）として、高い順に「他人の話し声」、「温度調節」、「湿度調節」「トイレの清潔度」の状況です。

表1 医師の対応

項目	満足群	不満足群	わからない	無回答
医師はあなたの気持ちを尊重しているか	120人	34人	13人	3人
あなたが望んでいた治療が受けられているか	102	44	18	6
医師はあなたの知りたいことを話しているか	107	44	13	6
治療はあなたの問題対処に役立っているか	110	40	15	5
全体として治療に満足しているか	103	51	13	3
援助が必要な時、再度同じ治療を受けたいか	97	48	22	3
合計	639	261	94	26
割合	63%	26%	9%	2%

表2 看護師の対応

項目	満足群	不満足群	わからない	無回答
看護師はあなたの気持ちを尊重しているか	120人	37人	10人	3人
看護師は責任を持ってあなたの看護をしているか	123	32	12	3
看護師はあなたが安心できる対応をしているか	116	40	12	2
看護師はあなたの質問に十分説明しているか	115	41	12	2
看護師はあなたの予定について説明しているか	93	52	18	7
看護師はあなたが辛い時にすぐに対応しているか	107	46	12	5
あなたはこの病院の看護にどの位満足しているか	106	46	15	3
合計	780	294	91	25
割合	66%	25%	7%	2%

【外来患者の満足度】

「この病院に来て良かったか」に対して、「満足群（非常に満足・満足）」67%、「不満足群（あまり思わない・全く思わない）」10%、「わからない」と「無記入」を合わせて23%がありました。満足群の割合が前回調査よりも高くなっています（64%→67%）。逆に不満足群の割合は前回調査より6.9ポイント下がっています。

「改善が必要と思われる項目」について聞いたところ、多い順に1位「診察後薬を受領するまでの待ち時間」88人、2位「診察までの待ち時間」81人、3位「食堂がない」74人、4位「交通の便について」68人の順でありました。上位4項目は前回調査と同じ項目で順位も同じ状況です。今年の1月からオーダリングシステムを導入し、待ち時間についてはやや改善されているように病院側は認識していましたが、患者さんから見れば、まだまだ改善の余地が必要であることが窺えます。

【せりがや病院編】

●調査期間：平成22年1月27日（入院患者）、平成22年1月28日（外来患者）

●調査方法：アンケート方式（自記式無記名）

入院患者：配布数 49人 回収数 44人（回収率89.8%）

外来患者： // 67人 // 49人（調査日の外来患者数68人）

【入院患者の満足度】

医師の対応に関しては、「満足群（とてもそう思う・そう思う）」78%、「不満足群（あまり思わない・全く思わない）」18%、「無回答」4%の状況です。すべての項目に対して「満足群>不満足群」の状況であります。前回調査に比べると、満足群の割合が約10ポイント下がり、その分、不満足群が高くなっています。

看護師の対応については、「満足群」74%、「不満足群」23%、「無回答」2%で、看護師の場合も、医師の場合と同様な傾向にあります。前回調査に比べ、満足群の割合が約10ポイント下がり、不満足群が約10ポイント高くなっています。

施設・設備に関する13項目（清掃の状況、不愉快な音、不愉快な臭い、冷暖房の状況、設備の使いやすさ、表示のわかりやすさ、掲示物の整理、トイレの使いやすさ、お風呂の使いやすさ、院内照明の適切さ、廊下の整理整頓、病室の整理整頓、外来患者や家族用の設備状況）の満足度をみると、前回調査と同様に、「廊下や病室の整理整頓」の満足度が高く、「外来患者や家族用の設備状況」や「お風呂の使いやすさ」の満足度が低くなっています。なお、前回調査では満足度が約40%と低かった「冷暖房の状況」については、今回は満足度が約80%と高くなっています。

「改善が必要と思われる項目」では、「職員の説明不足」という声が多く、病院として、肝に銘じておかなければいけない内容です。

表3 医師の対応

項目	満足群	不満足群	無回答
医師の身なりや言葉使い、対応は良かった	36人	6人	1人
医師の説明はわかりやすかった	34	8	1
医師は患者さんやご家族の声によく耳を傾けていた	32	7	3
医師の治療や診察の技術や能力は高かった	32	10	1
医師は患者さんやご家族のプライバシーによく配慮していた	33	8	2
合 計	168	39	8
割 合	78%	18%	4%

表4 看護師の対応

項目	満足群	不満足群	無回答
看護師の身なりや言葉使い、対応は良かった	34人	9人	0人
看護師の説明はわかりやすかった	33	10	0
看護師は患者さんやご家族のプライバシーによく配慮していた	31	10	2
看護師の看護の技術や能力は高かった	30	11	2
合 計	128	40	4
割 合	74%	23%	2%

【外来患者の満足度】

医師の対応に関しては、「満足群」93%、「不満足群」5%、「無回答」2%の状況です。前回調査に比べると、満足群の割合が約5ポイント上昇しています。また「不満足群」も1ポイントと若干ですが下がっています。

看護師の対応については、「満足群」89%、「不満足群」7%、「無回答」4%で、看護師の場合は、前回調査に比べ「満足群」の割合は殆ど変わっていませんが、「不満足群」の割合が約2倍以上増えています（約3%→約7%）。

施設・設備に関する13項目については、「不愉快な臭いや音」、「清掃状況」については満足度が高く、「外来患者や家族用の設備状況」、「掲示物の整理」、「トイレの使いやすさ」などの満足度が低くなっています。

「改善が必要と思われる項目」については、「外来待ち時間が長い」、「医師が変わること」などがあがっています。

■職員募集（非常勤）

当センターでは、看護師さんを募集しています。ご希望の方は、センター総務課までお問い合わせ下さい。

勤務先：「芹香病院」又は「せりがや病院」

業務内容：病棟勤務 待遇：法人の規定により経験年数に応じ待遇

《問合せ先》 神奈川県立精神医療センター看護局又は事務局総務課（045-822-0241）